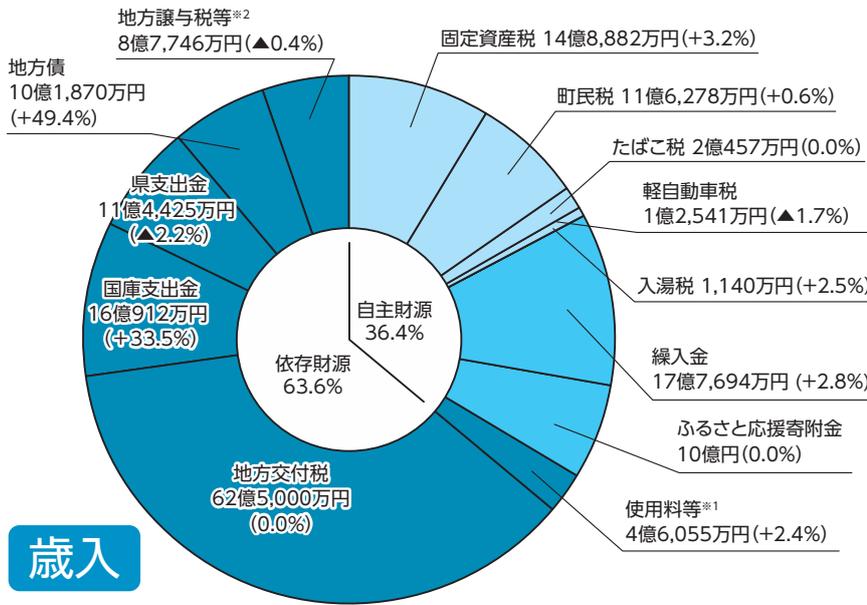


予 算

一般会計の予算は、原油
価格・物価高騰への対応や
社会保障関係経費の増加、
新規事業である「しみず温
泉整備事業」により、前年
度の当初予算と比較して
8億2000万円増加し
17億3000万円と
なりました。



※1 使用料・手数料・分担金・負担金・財産収入・寄附金（ふるさと応援寄附金除く）・繰越金・諸収入の計
 ※2 地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金・株式譲渡所得割交付金・法人事業税交付金・地方消費税交付金・ゴルフ場利用税交付金・環境性能割交付金・地方特例交付金・交通安全対策交付金の計
 ※3 () は前年度比

一般会計 1人あたりでは？

議会費 3,663円	総務費 7万4,444円	民生費 17万7,805円	一人当たりの町税負担額（見込み額） 11万6,950円				
衛生費 6万2,668円	農林水産業費 4万8,802円	商工費 4万772円	一人あたりに使われるお金（見込み額） 66万9,350円				
土木費 5万3,489円	消防費 2万7,637円	教育費 4万7,128円	※令和5年（2023年）1月31日現在の人口（2万5,592人）で計算しています。				
その他 4万6,114円	公債費 8万6,828円	教育費 4万7,128円	土木費 5万3,489円	消防費 2万7,637円	教育費 4万7,128円	公債費 8万6,828円	その他 4万6,114円

各会計 地方債残高

	令和4年度（2022年度）末見込み	令和5年度（2023年度）末見込み	増減
一般会計	150億7,329万円	139億4,752万円	-11億2,577万円
水道事業会計	4億216万円	3億6,335万円	-3,881万円
簡易水道事業会計	18億298万円	16億7,161万円	-1億3,138万円
下水道事業会計	93億2,795万円	95億3,264万円	2億469万円
合計	266億638万円	255億1,512万円	-10億9,126万円

一人当たりの地方債残高

54万5,000円

※令和5年（2023年）1月31日現在の人口（2万5,592人）で計算しています。

用語解説

- 自主財源／町税や使用料および手数料、財産収入など、町自らが徴収する収入で、歳入総額に占める割合が高いほど財政の自主性と安定性が高いといえます。
- 依存財源／国や県から自治体に交付される金額や割り当てられる収入で、国・県支出金、地方交付税、各種交付金、地方債などが該当します。
- 義務的経費／任意に削減できない極めて硬直性が強い経費。職員の給与などの人件費・地方債の元利償還金などの公債費・扶助費から構成されています。
- 投資的経費／道路、橋りょうの整備や学校などの施設建設など社会資本整備に必要な経費。普通建設事業費、災害復旧事業費から構成されています。